

2014年度 民間住宅ローン利用者の実態調査 【フラット35利用者編】(第3回)

調査の概要

1 調査方法

インターネット調査

インターネット調査会社のモニター75万件のうち2の調査対象の要件を満たす方に対し、インターネットによるアンケート調査を実施し、回答があった民間住宅ローン利用者953件を調査対象とし、そのうちフラット35利用者186件について集計を行った。

2 調査対象

民間住宅ローン利用者 (n=953)

うちフラット35利用者 n=186

うちフラット35以外 n=767

- ・ 2014年11月から2015年2月までに民間住宅ローンの借入れをされた方
- ・ 全国の20歳以上60歳未満の方(学生の方及び無職の方を除く。)
- ※居住用の新規の民間住宅ローン(借換ローン、リフォームローン、土地のみのローン又はアパート若しくは投資用のローンを除き、フラット35を含む。)

3 調査時期 2014年11月～2015年2月

4 調査項目 フラット35利用者の住宅ローン選に関する事項等

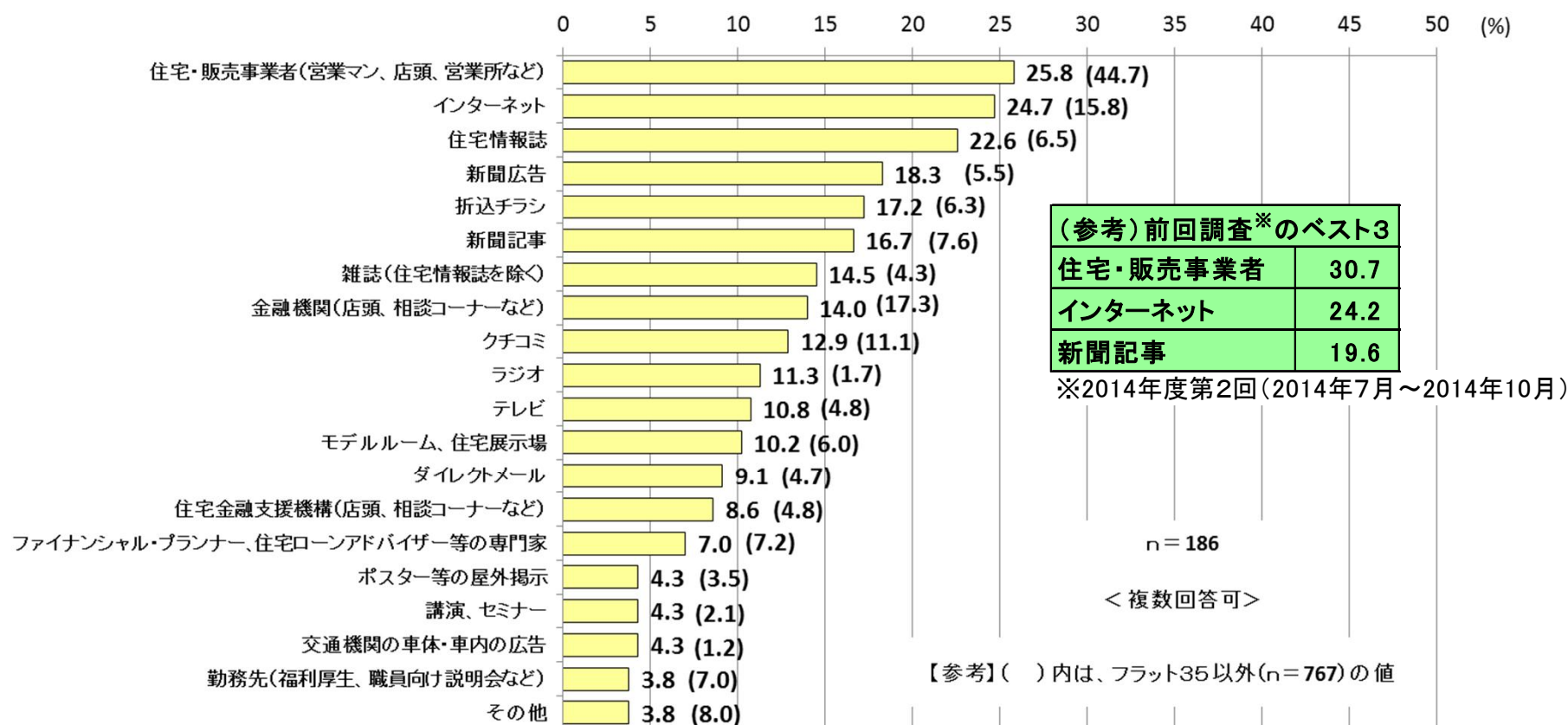
2015年5月

独立行政法人 住宅金融支援機構 調査部

1. フラット35を知るきっかけとして影響が大きかった媒体等

- フラット35を知るきっかけとして影響が大きかった媒体等は、「住宅・販売事業者」(25.8%)が最も多く、次いで「インターネット」(24.7%)、「住宅情報誌」(22.6%)と続いた。
- フラット35以外の住宅ローンを利用された方と比較すると、「住宅情報誌」、「新聞広告」、「新聞記事」、「雑誌(住宅情報誌を除く)」等の影響が高い。

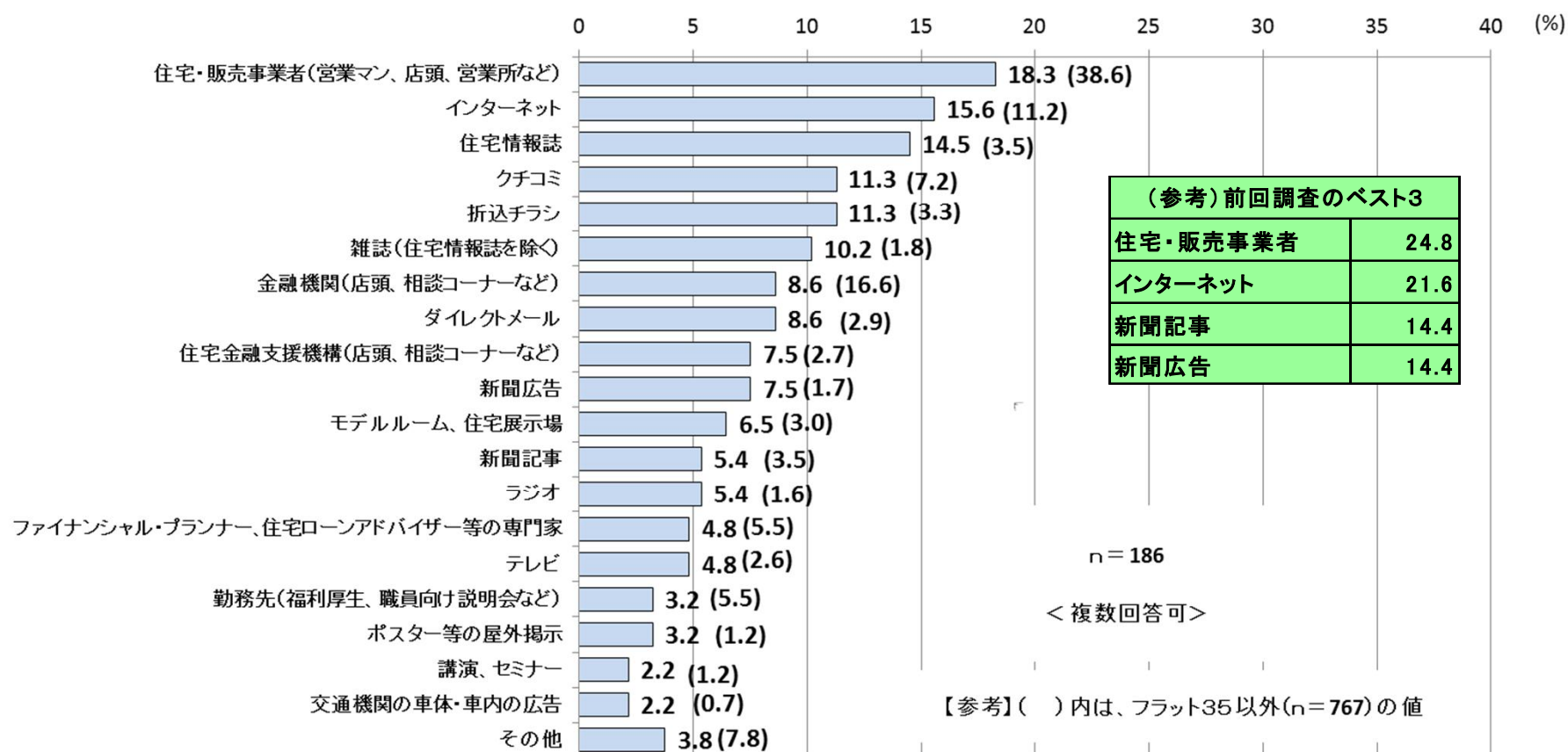
フラット35を知るきっかけとして影響が大きかった媒体等



2. フラット35の利用を決定するに際して影響が大きかった媒体等

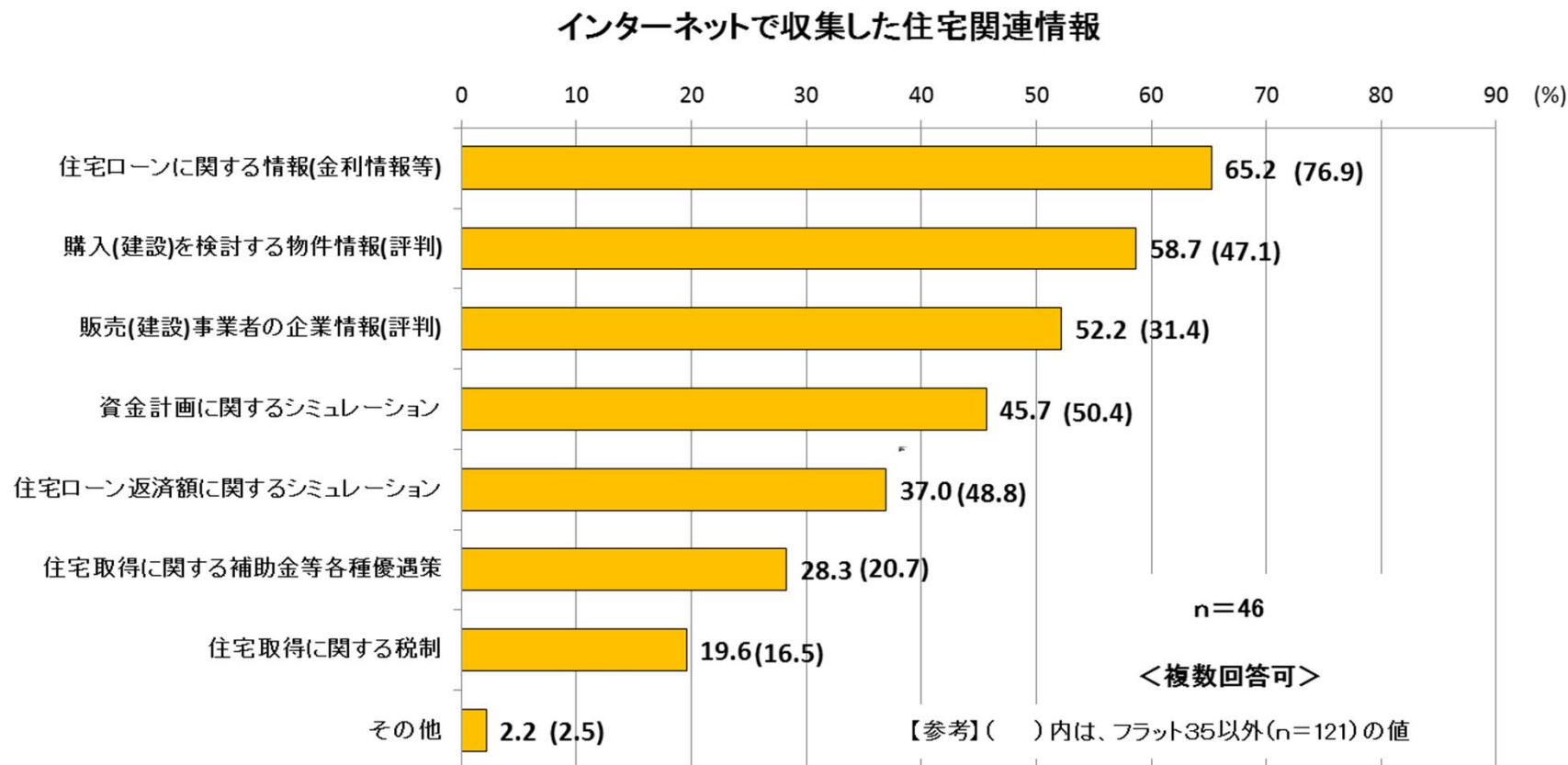
- フラット35の利用を決定するに際して影響が大きかった媒体等は、「住宅・販売事業者」(18.3%)が最も多く、次いで「インターネット」(15.6%)、「住宅情報誌」(14.5%)と続いた。
- フラット35以外の住宅ローンを利用された方と比較すると、「インターネット」、「住宅情報誌」、「雑誌(住宅情報誌を除く)」、「新聞広告」等の割合が高い。

フラット35の利用を決定するに際して影響が大きかった媒体等



3. インターネットで収集した住宅関連情報

○ インターネットで収集した住宅関連情報は、「住宅ローンに関する情報(金利情報等)」(65.2%)が最も多く、次いで「購入(建設)を検討する物件情報(評判)」(58.7%)と続いた。



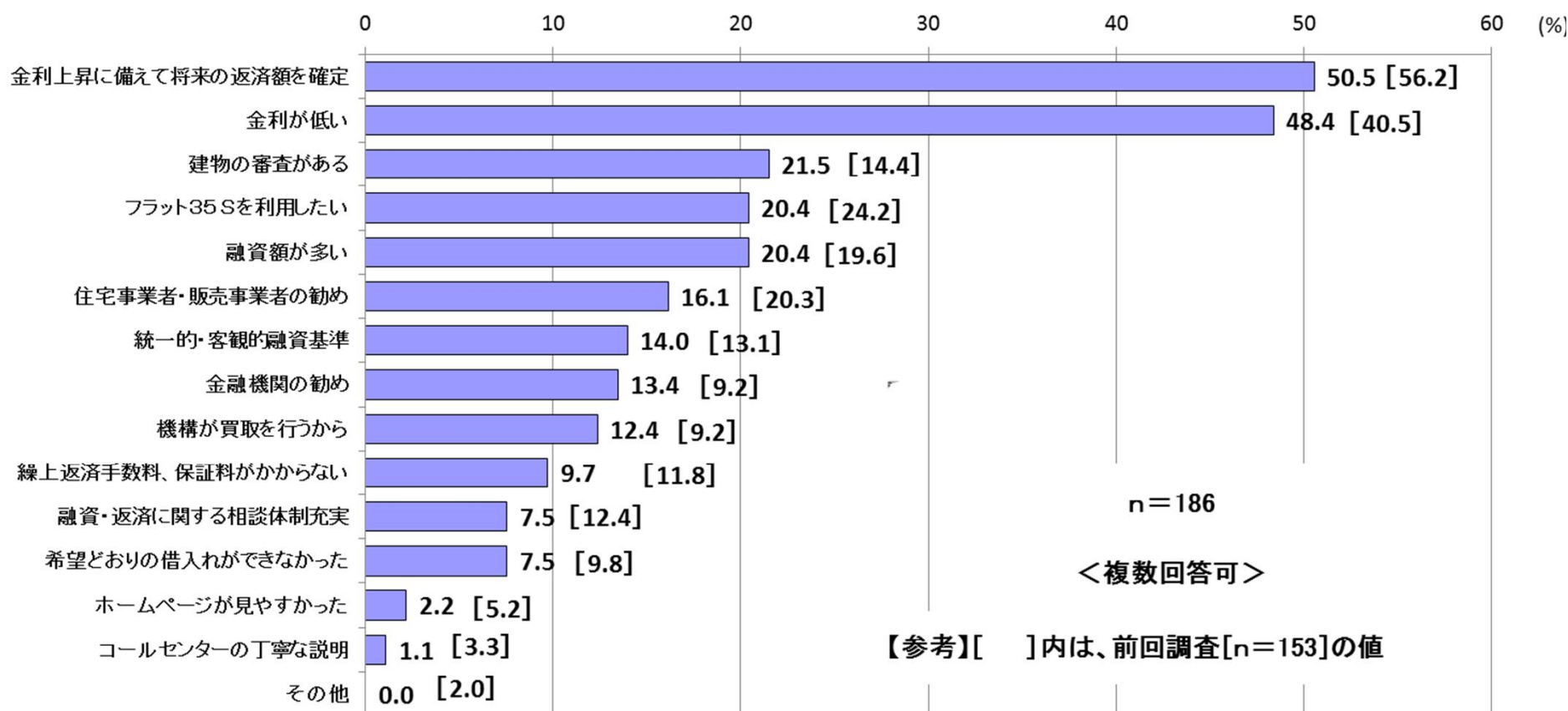
(参考) 前回調査のベスト3	
購入(建設)を検討する物件情報(評判)	73.0
住宅ローンに関する情報(金利情報等)	70.3
販売(建設)事業者の企業情報(評判)	59.5

4. フラット35を利用した理由

○ フラット35を利用した理由は、「金利上昇に備えて将来の返済額を確定」(50.5%)が最も多かった。

○ 前回調査と比較して、「金利が低い」(48.4%)が増加した。

フラット35を利用した理由

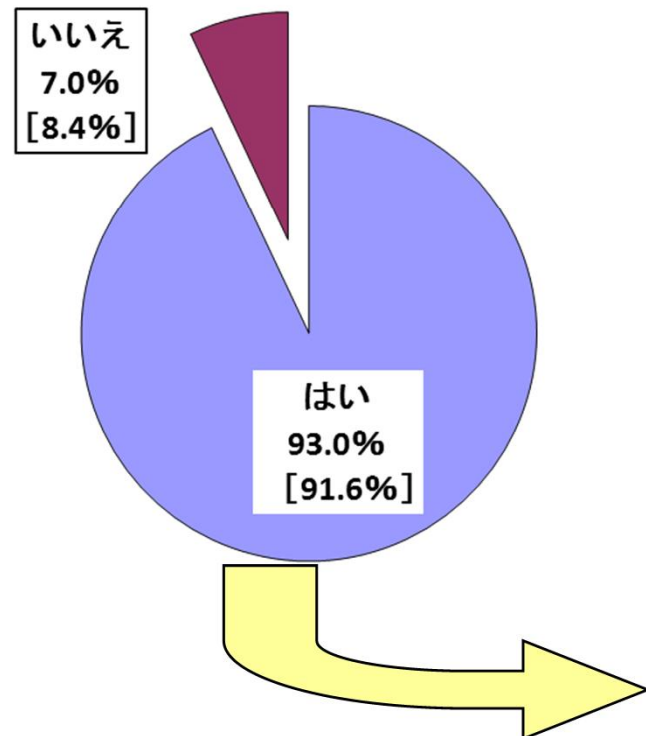


5. フラット35の認知状況(民間住宅ローン利用者全体)

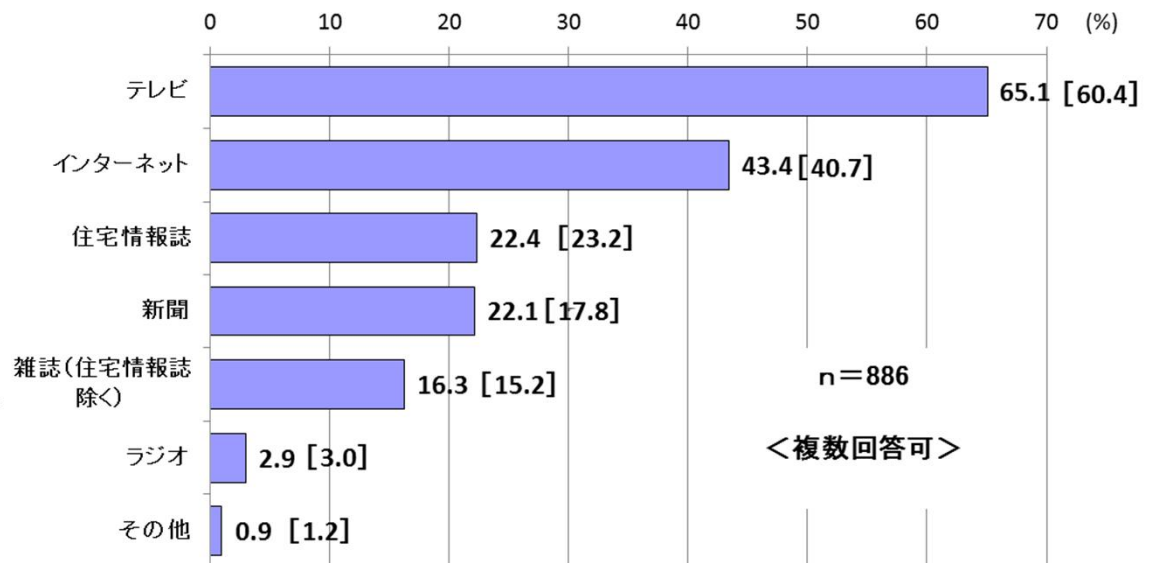
- フラット35の広告や情報を見聞きされたことがある方は、全体の93.0%と前回調査より増加した。
- 見聞きしたことがある広告や情報の媒体は、「テレビ」(65.1%)が最も多かった。次いで、「インターネット」(43.4%)、「住宅情報誌」(22.4%)と続いた。

フラット35の広告や情報を見聞きされたことがありますか(n=953)

【参考】[]内は、前回調査[n=858]の値



見聞きされたフラット35の広告や情報の媒体は何ですか。



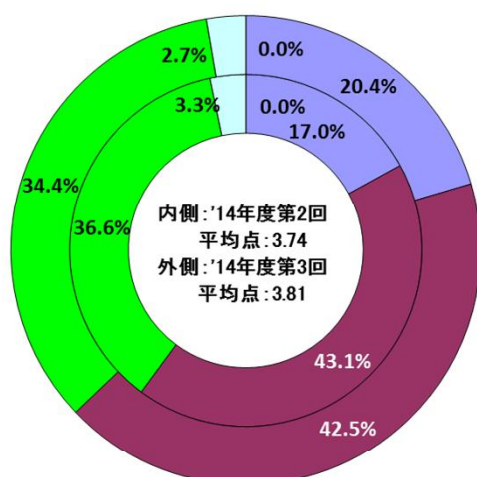
【参考】[]内は、前回調査[n=786]の値。

6. フラット35に対する満足度

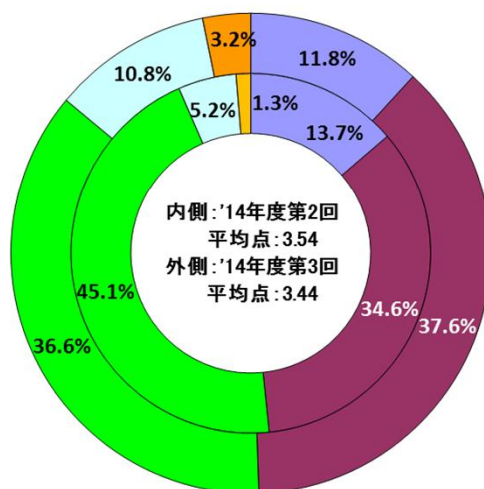
- フラット35に対する満足度については、総合評価では 62.9% が「大いに満足」又は「やや満足」と回答した。
- 平均点を比較すると、「融資額」において特に上昇した。一方、「申込みから融資実行までの事務手続」は民間住宅ローン利用者全体と同様に低下した。

※図中の「平均点」は、5段階評価について「大いに満足」5点、「やや満足」4点、「普通」3点、「やや不満」2点、「大いに不満」1点として算出した得点

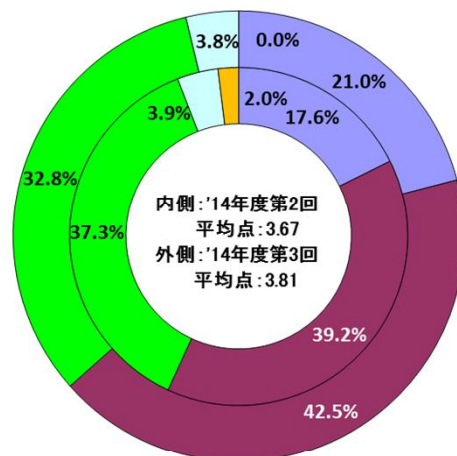
総合評価



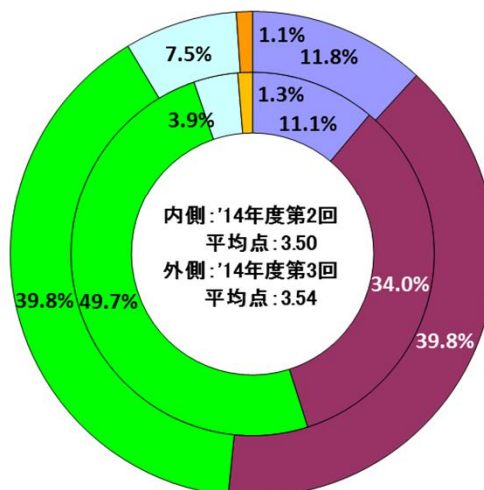
申込みから融資実行
までの事務手続



融資額

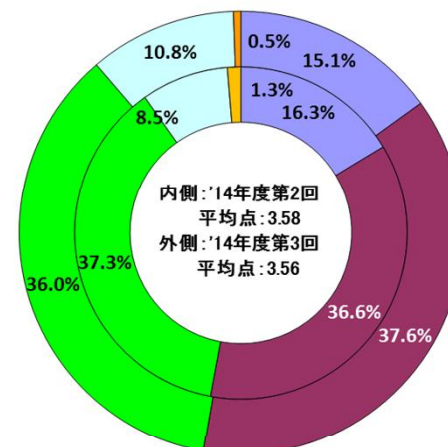


金融機関の商品説明
や情報提供

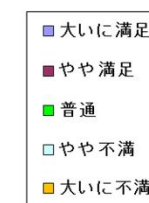
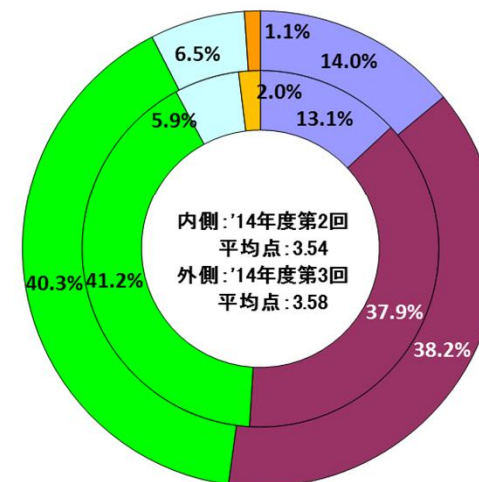


金利の水準

n=186
前回調査(n=153)



住宅・販売事業者
の情報提供



(参考) 平均金利
前々回: 1.79 %
前回: 1.74 %
今回: 1.50 %

【参考】 回答者の基本属性

【フラット35利用者】 n=186

項 目		サンプル数	構成比(%)
年齢	20歳代	53	28.5
	30歳代	75	40.3
	40歳代	37	19.9
	50歳代	21	11.3
世帯年収	400万円以下	29	15.6
	400万円超～600万円以下	55	29.6
	600万円超～800万円以下	41	22.0
	800万円超～1000万円以下	27	14.5
	1000万円超～1500万円以下	21	11.3
	1500万円超	13	7.0
地域	首都圏	72	38.7
	東海圏	26	14.0
	近畿圏	35	18.8
	その他	53	28.5
住宅の種類	注文新築 (うち敷地同時取得)	110 (39)	59.1 (35.5)
	注文建替え	12	6.5
	新築建売	16	8.6
	新築マンション	32	17.2
	中古戸建	6	3.2
	中古マンション	10	5.4
返済負担率	10%以下	36	19.4
	10%超～15%以下	41	22.0
	15%超～20%以下	50	26.9
	20%超～25%以下	37	19.9
	25%超～30%以下	18	9.7
	30%超～35%以下	4	2.2
	35%超～40%以下	0	0.0
	40%超	0	0.0

首都圏: 埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
 東海圏: 岐阜県、静岡県、愛知県、三重県
 近畿圏: 滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
 その他: 首都圏、東海圏、近畿圏以外